

# 太陽誘電の歩み

1950

**1950年3月**

太陽誘電株式会社設立  
佐藤彦八 創業社長と設立当時の営業拠点(東京都千代田区)



**1950年9月**

チタン酸バリウム磁器  
コンデンサ「ルチルコン」  
を商品化



**1954年9月**

小型フェライトコア「フェリットコア」の生産開始

1960

**1964年9月**

技術研究所を設立

**1965年**

自社製フェライトコアを  
用いたインダクタを  
商品化



**1967年5月**

台湾・台北市に初の当社現地法人  
「台湾太陽誘電股份有限公司」を設立

1970

**1970年3月**

東京証券取引所市場第二部に上場、  
1973年には一部に指定替え

**1976年7月**

アキシシャルリード型磁器  
コンデンサを世界で  
初めて商品化



**1977年4月**

アキシシャルリード型  
インダクタを商品化

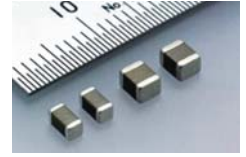
**1977年10月**

世界初の円筒チップ型磁器コンデンサを開発

1980

**1984年7月**

ニッケル電極大容量積層  
セラミックコンデンサを  
世界で初めて商品化



**1986年6月**

EMCセンターを開設

**1988年9月**

世界初の追記型  
光記録メディア「CD-R」  
の商品化を発表



1990

**1998年6月**

電源回路用巻線チップインダクタ  
「LBシリーズ」を商品化

**1998年11月**

R&Dセンターを開設



2000

**2000年**

海外4生産拠点を同時立ち上げ

**2001年4月**

Bluetooth®フルモジュール、Bluetooth®規格  
Ver1.1認証を世界で初めて取得

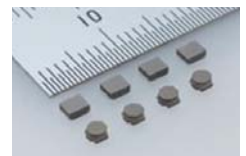
2010

**2010年3月**

太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社を子会社化

**2012年5月**

メタル系パワーインダクタ  
「MCOIL™(エムコイル)」  
を商品化



**2014年9月**

0201サイズ積層  
セラミックコンデンサ  
を商品化

